

# 令和8年度県政広報テレビ番組制作・放送委託業者選定企画プロポーザル実施要領

## 1 企画プロポーザルの目的

県民の理解と協力に基づく開かれた行政を運営するためには、県政情報を県民に提供する必要がある。その手段の一つとして、テレビ媒体を通じ、県の重要施策や主要事業等について広報活動を行っていく必要がある。

その際、テレビ番組の制作・放送を委託する必要があることから、企画プロポーザルを行い、企画内容や表現技術等を審査することにより、当該事業の目的や内容を着実かつ効果的に遂行できる業者を選定する。

## 2 企画プロポーザルの課題

県の施策や事業、お知らせなどを、県民の視点で分かりやすく伝えとともに、視聴者が周りに伝えたいようなテレビ番組

## 3 作業スケジュール

令和8年3月6日(金) 午後4時(時間厳守)・・・参加申込書等の提出締切

令和8年3月13日(金)・・・企画書の提出締切

令和8年3月24日(火)・・・プレゼンテーション、審査会の実施(変更の場合あり)

令和8年4月1日(水)・・・契約・制作業務スタート

## 4 参加申込書等の提出

(1) 期 限・・・令和8年3月6日(金) 午後4時(時間厳守)

(2) 提出先・・・沖縄県知事公室広報課(県庁5階) 担当:宮城

(3) 提出物・・・参加申込書(様式1)、広報テレビ番組制作体制等状況調書(様式2)、共同企業体協定書(様式3)、会社の概要及び事業実績、誓約書(様式4)

## 5 プロポーザル参加資格確認結果の通知

日時・・・令和8年3月9日(月) までに通知を行う。

## 6 企画書等の提出

(1) 期 限・・・令和8年3月13日(金) 午後4時(時間厳守)

(2) 提出先・・・沖縄県知事公室広報課(県庁5階) 担当:宮城

(3) 提出物・・・企画書8部、見積書8部(原本は1部でもよい。)

下記10【特記事項】に該当する認定・認証制度等の取得が確認できる書類

## 7 プレゼンテーションの実施

(1) 日時:令和8年3月24日(火)

プレゼンテーション 15:00～ (業者1)

15:30～ (業者2)

16:00～ (業者3)

審査会 16:25～16:35

\*プレゼンテーションを行う順番は、後日連絡する。

\*プレゼンテーションにおける各社の持ち時間は25分。

そのうち説明時間は15分とし、質疑応答を10分とする。

各プレゼンテーション間に5分間のインターバルを設ける。

\*諸事情により日時が変更となる場合あり。

- (2) 場所：県庁 11 階土木建築部第 2 会議室（予定）  
（各業者の開始時間約 5 分前に会議室前で待機すること。）
- (3) 注意事項：映像、音声等の使用は可能であるが、必要な機材は、提案事業者において準備すること。

## 8 企画書の要件等

- (1) 番組の内容  
別紙「令和 8 年度県政広報テレビ番組制作・放送に関する仕様書」参照
- (2) 企画書  
県では、テレビ番組を通じ、県の行う施策や事業、お知らせなどを県民視点で分かりやすく、かつ、視聴者が自発的に拡散することで広報効果を高めたいと考えている。  
以上の点を踏まえ、下記の項目について提案すること。
- ア 番組コンセプト、番組構成・演出
  - イ キャスティング・出演者プロフィール
  - ウ インフォメーションコーナーのデザイン
  - エ 放送局・放送時間帯
  - オ 広報番組に係る制作体制（広報テレビ番組制作体制等状況調書（様式 2）にて説明を行うこと。）
  - カ 追加提案
  - キ 番組制作・放送等に係る費用
  - ク 特記事項に該当する書類の提出

## 9 企画書の体裁等

- (1) 原則として A 4 判、左綴りとする。（ただし、グラフ・表等は、必要に応じて A 3 判にして折り込むなど、理解しやすいように適宜、工夫すること。）
- (2) 1 部のみ企画書表紙下部中央に各社与えられた番号と社名を表示すること。残り 7 部については、表紙を含む企画書内に社名の表示を行わず、インデックス（27mm×34mm）に与えられた番号を付し、A 4 判縦置き右側に貼付する。貼付する位置は、与えられた番号順に若い方から 30mm おきとする。  
（例：番号 3 の業者は、企画書の右側上から 30mm×2＝60mm の位置にインデックス上部がくるように貼付する）  
なお、左端は、綴りやすいようにパンチ穴を 2 つあけること。
- (3) 広報テレビ番組制作体制等状況調書（様式 2）  
企画書表紙下部中央に各社与えられた番号と社名を付した 1 部のみ、様式の記載事項全てを記入し、残り 7 部は太線枠部分に記載をしないものとする。

## 10 審査の方法

- (1) 第一次審査（企画書審査）  
参加申込みが 4 者以上ある場合、企画書を事務局（広報課）で審査し、総合点数の高い方を上位として総合順位を決定し、上位 3 者を企画プロポーザルにおけるプレゼンテーション参加業者とする。
- (2) 第二次審査（プレゼンテーション審査）  
ア 審査員は、各参加者のプレゼンテーションにおける説明等を踏まえ、審査シートに得点を記入し、順位を決める。  
イ 各審査員が付けた順位に基づき、当該業務の契約候補業者を決定する。  
ウ 審査会の詳細は、別途定める審査会実施要領に基づく。  
エ なお、参加者が 1 者のみであった場合にも、審査会において企画書に基づく審査を実

施し、本業務を実施するにふさわしいか否かを評価する。

### (3) 審査基準

主に次の事項等について審査する。

- ア 番組コンセプト・番組構成・演出
- イ キャスティング・出演者プロフィール
- ウ インフォメーションコーナーのデザイン
- エ 放送局・放送時間帯
- オ 広報番組に係る制作体制
- カ 追加提案（職員の業務負担軽減等の効果的な追加提案があるか）
- キ 費用内訳の見積額は妥当か。
- ク 特記事項

次の認定・認証制度等を取得している場合、審査結果に加点を行う。

- ・国の「パートナーシップ構築宣言」宣言企業
- ・沖縄県人材育成企業認証制度
- ・沖縄県ワークライフバランス認証制度
- ・沖縄県所得向上応援企業認証制度
- ・沖縄県障害者雇用推進企業登録制度
- ・経営革新計画認証制度
- ・みんなでグッジョブ運動推進功労者表彰
- ・「うちなー健康経営宣言」宣言企業
- ・国（独立行政法人、公社及び公団を含む。）又は地方公共団体が行う上記制度と同等の認定・認証制度

- 1 1 見積金額（上限額）** 総額 37,304,000 円（消費税込）の範囲で見積もること。  
但し、この金額は企画提案のため設定した額であり、実際の契約金額とは異なる。

### 1 2 質問及び回答について

- (1) 質問方法・・・文書、FAX 又はメールにより提出すること。（様式 5）
- (2) 期間・・・令和 8 年 3 月 4 日(水)（午後 4 時）まで
- (3) 回答・・・期間中に提出のあった質問事項に対する回答を令和 8 年 3 月 5 日(木)を目途に沖縄県ホームページにて回答を行う。

### 1 3 その他

- (1) 企画プロポーザルに要する費用は、参加者の負担とする。
- (2) 提出された企画書は、原則として審査会終了後も返却しない。ただし、業者から令和 8 年 4 月 1 日までに要求があった場合は、1 部を残し返却するものとする。
- (3) 令和 8 年度県政広報テレビ番組制作・放送委託事業は、次年度の当初予算成立を前提とした年度開始前の事前準備手続であり、予算成立後に効力を生じる事業である。県議会において当初予算案が否決された場合又は予算額に変更があった場合は、契約を締結しないことがあります。
- (4) 採用予定となった企画書については、選定者との協議の上、若干変更することがある。ただし、番組構成の重要部分の変更は除く。
- (5) 成果物の著作権（著作権法第 21 条から第 28 条までの権利）は県に帰属し、受託者は著作権人格権を行使しないものとする。
- (6) 積算の費目は、次のとおりとする。
  - ・直接人件費

- ・直接経費（謝金、旅費、消耗品費等）
- ・一般管理費（（直接人件費）＋直接経費－再委託費）の10%以内とする。）
- ・諸経費（その他、業務内容により積算する必要がある場合は、根拠基準を明記のうえ積算すること。）

（7）一般管理費は、委託業務を行うために必要な経費のうち、当該業務に要した経費として特定が難しいものについて、契約締結時に一定割合で認められる経費で、具体的には役職員の手当、管理部門等の管理経費、事務所の家賃、光熱水費、回線使用料、汎用文具等に要する経費で、一定の負担が生じている経費として計上するものである。

（8）その他番組制作等に関して疑義が生じた場合は、県と委託業者とで別途協議する。

問い合わせ先：沖縄県知事公室広報課

担当：宮城

TEL:866-2020 FAX:866-2467